

Mémoire 2024

第19回 ヴィクトリアマイル(GI)



努力が実を結び幸福を手にした テンハッピーローズ

末脚一閃、14番人気の伏兵が鮮やかに差し切って大波乱を演出した。

前年の秋華賞2着馬で、前走の阪神牝馬Sを制して臨むマスクディーヴァ。マイルチャンピオンシップの覇者で、その後も香港マイル3着、ドバイターフ2着と海外で好走を続けるナミュール。春の女王決定戦は、そんな2頭の一騎打ちムードの中で行われた。

中山牝馬Sを逃げ切ってきたコンクシェルが先導するレースは、最初の3ハロンが33秒8という速い流れとなった。マスクディーヴァは中団から、ナミュールは出遅れて後方からの競馬となる。直線、失速していく先行馬たちに代わって、その直後を進んできたフィアスプライドが先頭に立つ。しかしその外から1頭、猛然と伸びてきたのが単勝208.6倍、14番人気のテンハッピーローズだった。

一気にフィアスプライドに迫ったテンハッピーローズは残り200m過ぎに先頭に立つと、さらにもうひと伸び。粘るフィアスプライド、内を突いたマスクディーヴァ、外から追い上げるドウアイズらの2着争いを1馬身1/4差後方に見ながら、6歳にして重賞初制覇をGIで飾る歓

喜のゴールを駆け抜けた。

実績は朱鷺S勝ちなど1400mに集中しており、マイル戦の勝利自体、これが初めて。高柳大輔調教師は「長い年月をかけて、馬に教えていく形で距離を少しずつ延ばしてきました」と胸を張った。

津村明秀騎手は、デビュー21年目で悲願のGI初制覇。勝利騎手インタビューでは何度も涙で声を詰まらせながら「ここまで長くて長くて。でも諦めてはいけなと、GIに乗れるように朝から最終レースまで頑張ってきました。やっと勝ちましたが、これで終わりではありません。これからも頑張ります」と宣言。38歳の鞍上と6歳牝馬が、待ちに待った初の勲章を掴み取った。

第19回ヴィクトリアマイル(GI)

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
5/12	東京競馬場	1600m(芝・左)	曇・良	15頭				
1	テンハッピーローズ	牝6	56	津村 明秀	高柳 大輔	1:31.8	⑭	⑩⑧
2	フィアスプライド	牝6	56	C.ルメール	国枝 栄	1 1/4	④	③③
3	マスクディーヴァ	牝4	56	J.モレイラ	辻野 泰之	クビ	①	⑦⑧
4	ドウアイズ	牝4	56	鮫島 克駿	庄野 靖志	クビ	⑪	⑦⑥
5	ルージュリナーージュ	牝5	56	横山 和生	宗像 義忠	1/2	⑬	⑮⑮

テンハッピーローズ
栄光の蹄跡

9

エビファネイア 100 M
テンハッピーローズ
フェータルローズ(タニノギムレット)
2018.2.26 生 千歳・社台ファーム



牝6 栗
56
津村 明秀
1986.1.5 生 O型
天白 泰司氏
高柳 大輔(栗東)

2024.4.6 阪神
サンスポ杯阪神牝馬SGⅡ
11ト9人 6(106)
55*。 津村 明秀
芝1600良 1:33.4

2024.2.17 京都
京都牝馬SGⅢ
18ト8人 7(102)
55*。 津村 明秀
芝1400良 1:20.6

2023.8.27 新潟
朱鷺S L
17ト3人 1(100)
55*。 津村 明秀
芝1400良 1:20.8